番 25①

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

号型型									
学 部 教科等名		小学部 国語•質粉			学年 6年 6年 ビゾシ グループ				
教科等名					グループ名 ぶどう グループ 身に付け、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。				
ねらい		・言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を							
		身の回り	養う。 ・身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、算数に主体的に関わることができる。						
		· 日常生活	・日常生活の事象から見出した算数の問題を、具体物や絵図、式などを用いて表現し、伝えあう。						
担当教員		○川藤	○加藤 哲雄 田幸 拓望 150.6/256.8						
	予定授業時数 使用教科書 東京書籍		F	150.6/256.8 こくご☆☆☆ 教育出版 さんすう☆☆☆					
月	単元(題:		*	主な学習内容		評価の観点)	指導の工夫		
通年	・鉛筆で書いるう	てみよ		・鉛筆を使って、線を引いたり、なぞり書きをしたりする。	・印・線・枠を意識 うことができる。	哉して、筆記用具を扱	・持ちやすい筆記用 具を準備する。		
4 5 6 7	<国語> ・せつめいぶんをよもう 「のりもの」「むし」「はな」 ・ぶんをかこう 「ひらがなをかこう」 「かたかなをかこう」 「ぶんをかこう」		0	サインで表現したりする。 ・平仮名の単語とイラストのマッチング。 ・簡単な文章を読む。(乗り物、虫、花など)	・絵カードや写真を見て、単語を音声や身振りで表現することができる。 ・1~2文字の単語について、イラストと平仮名のマッチングができる。 ・文章の題材になっている物や動物などの絵や写真を、指差ししたり選んだりする。		・生活の中でよく触れる題材にする。 ・生活の中で目にするものを使用する。 ・ICT機器を括用し、 児童が表出・表現しやすい手段を整える。		
	<算数> ・カレンダー 「ひにちとようび」「かれんだーのしくみ」 「おたんじょうび」 ・10よりおおきいかず 「10といくつ」「かずを かきましょう」「20まで のかずの大小」「20 のかずまでのたしざん」		0	数字を並べる。 ・10のまとまりの理解 ・元の数に足したらいくつ になるか数える。	ダーの仕組みに気付く。 ・アナログ時計の文字盤に1~12の数字を置くことができる。 ・10個ずつ具体物を並べたり、束ねたりして、10まで数えることができる。 ・合わせた具体物や絵カードを、1つずつ声に出して数えることができる。		・個々の児童の実態に応じて、課題を設定する。 ・タブレット端末の時計アプリなども使い、自分で操作して学習できるようにする。 ・指で差しながら、1つずつ数えられるよう支援する。		
9 10 11 12	< 国語かなにう 「かたかななを 「かたかななを 「う」・がもう 「プレなし」 ・プレなし」 ・プレなし、 ・プレなし、 ・プレなりをかい。 ・であれるかなかなか。	なにしたしも なをよもう」 なをさがそ このどうわを ペンのまちの 」 みよう		・繰り返しのある文や早口言葉を読む。 ・片仮名の単語とイラストのマッチング。 ・劇の台詞を覚える。 ・図書館の方の読み聞かせを聴く。	・言葉のリズムや速度を感じながら、文を読むことができる。 ・1~2文字の単語について、イラストと 片仮名のマッチングができる。 ・自分の役を覚え、台詞を言うことができる。 ・読み聞かせに親しむ。		・言葉のリズムを楽しめるものを題材とする。 ・生活の中で目にするものを使用する。 ・台本を用意する。 ・おらかじめ読み聞かせの本の写真を見かしたり、物語にふれたりする機会を設ける。		
	く算数> ・まとめてか・「2ずつかぞう」「5ずつかでしょう」「10でしょう」「10でしょう」「20でしょうやぐび」でいようやぐび「ひょうやぐび」でラフをしょう」	ぞえよう えましょ いぞえま つかぞ いふ いち いち	0	・20までの数字を順番に並べる。 ・結果を表や棒グラフで表す。 ・身近にある10以上の数。	りに物を並べるこ ・入れた玉や倒し シールを貼り、グ る。	とができる。 たピンの数を数えて ラフで表すことができ 計など、10以上の数	・具体物は、置く時に 手ごたえのあるものを 使用する。 ・ゲームを取り入れ、 能動的に活動に参 加できるようにする。 ・具体物を活用する。		
2	<国語>・たいけんしたことを はっぴょうしよう 「たのしかったえんそ く」「かじ」 ・ことばのさいしょの もじにちゅうもくしよう 「プレゼントはなあ に」		0	・繰り返しのある言葉・擬態語・擬声語を用いた文章を、声に出したり身振りで表現したりする。 ・簡単な物語の読み聞かせ。	りで表現すること ・場面に即した動		文を、モニターに映		
	く算数> ・じゅんばんにならべましょう 「10より小さい数、大きい数」「どんなかずがはいるでしょう」「らがえしたかーどがいくつでしょう」 ・くらべてみよう 「ふとさをくらべましょう」「たかさをくらべましょう」「あかい、あさい」 「とおい、ちかい」「とおい、せまい」「おもさくらべましょう」「とおい、ちかい」「おもさくらべましょう」「とおい、ちかい」「とおい、せまい」「おもさをくらべましょう」		0	・具体物の長さや太さ、重さを比べる。	・いろいろな物を	比べることができる。	・比べたい物の端をそろえて比べる。		
\ <u>'</u>	 ¬ − ``ı	ナナエ	-	る予定の内容について	·/ナ A #8/- 〇 -	t ~ 14 T \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<u> </u>		

番 25②

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

7										
学 部		小学部		学 年 6年		·				
教科等名		国語•算数		グループ名 メロングループ						
		・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。 ・出来裏の順度を思い出したり相像したりする力を養い、人と思わりの中で伝えなら力を身に付けること								
ねらい		・出来事の順序を思い出したり想像したりする力を養い、人と関わりの中で伝えあう力を身に付けること ができる								
	1450	かでさる ・身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、算数に主体的に関わることができる。								
		・問題解決した過程や結果を、具体物や絵図、式などを用いて表現し、伝えあう。								
担当教員		○南澤 知美 楠森 誠								
予定授業時数 150.6/256.8										
使	用教科書			ご☆☆☆ 教育出版 さん						
月	単元(題	材)名	*	主な学習内容	ねらい(評	価の観点)	指導の工夫			
通年	・鉛筆で書い	いてみよう		・平仮名や片仮名をなぞり 書きしたり視写したりする。	・線や枠を意識して くことができる。	・十字線など段階に 応じた教材を用意す る				
4	もう 「のりもの」「i な」 ・ぶんをかこ 「ひらがなを	つめいぶんをよりもの」「むし」「はしんをかこうらがなをかこう」 たかなをかこう」		 ・単語や短い文を、復唱したり、一人で読んだりする。 ・平仮名の単語とイラストのマッチング。 ・簡単な文章を読む。(乗り物、虫、花など) 	 ・単語や短い文を、語のまとまりを意識して読むことができるようになる。 ・身近な物の名称が、平仮名の単語のまとまりで分かる。 ・簡単な文章を読むことができる。 		・生活の中でよく触れる題材にする。 ・生活の中で目にするものを使用する。 ・イラストカードを複数 用意し、選択できるようにする。			
5 6 7	れんだーの「おたんじょ・10より大きい「10といくつ」かきましょう」のかずの大	ダー うとようび」「か ーのしくみ」 いじょうび」		・日にちと曜日、カレンダーの仕組み。 ・午前、午後の理解をする。時刻の読み取り。 ・10のまとまりの理解 ・1位数同士の繰り上がりのない足し算の仕方が分かる。	・一日の流れを理解し、示された時計の針を見て正しく読むことがわかる。 ・10までの数を分けたり、合わせたりしながら、10までの数え方や表し方を知る。 ・10までの2つの数を使って、足し算をすることができる。		・具体物の操作や選択肢のあるゲームなど、楽しんでできる題材を用意する。			
	く国語 > ・かたかなに う 「かたかなを 「かたかなを う」 ・がいこくの 「ブレーメン おはなし」 ・かいてみよ	よもう」 さがそ どうわを のまちの	・繰り返しのめるメヤギロ言葉を読む。 ・片仮名の単語とイラストのマッチング・身近な人の便りを聞く、読む。・関の台詞を覚える・・自分の役を覚え、台詞を言うことが・・自分の役を覚え、台詞を言うことが・・自分の役を覚え、台詞を言うことが・・		。 が、片仮名の単語の たり、書いたりする	・言葉のリズムを楽しめるものを題材とする。 ・イラストをモニターに映す。 ・見本を用意する。 ・あらかじめ読み聞かせの本の写真を見せたり、物語にふれたりする機会を設ける。				
	<算数> ・まとめてか・「2ずつかぞう」「5ずつかでしょう」「10ずっかでう」「10ずえましょう」 ・表やグラフ「ひょうをつくう」「グラフをしょう」	えましょ ぞえま つかぞ くりましょ		・20までの数字を順番に並べる。 ・グラフの作成、グラフの読み取りをする。 ・10のまとまりとあといくつ。	・数を数えて、グランる。		・親しみやすい題材 を選ぶ。 ・タブレット端末など 操作しながら学習で きるようにする。 ・具体物の形を操作 したり、比べたりす る。			
2	く国語> ・たいけんしはっぴょうしばっぴょうしい「たのしかっく」「かじ」 ・ことばのさいもじにちゅう「プレゼント」に」	よう たえんそ いしょの もくしよう		・繰り返しのある文章や物語を声を出して読む。 ・友達と交互に読み進める。 ・簡単な物語のイメージをもって、友達とやり取りする。	・文章を目で追って音読することができる。 ・読む順番を意識したり、自分の読む場所を予測したりする。 ・やり取りを通して、言葉で表現したり友達とやり取りしたりすることを楽しむ。		・文章をモニターに映 す。 ・読む順番をカードな どで示しておく。 ・範読などで、物語や 役のイメージがもてる ようにする。			
	く算ゆよう 「10より小どん ましょう 「10より小どん がはいるいでしたかい らがないこででいる いくらとさい しいすいにおい、ちっ しいすいにおい、ちっ といったいとない。 といったいとない。 にいない、ちゃくと といい。 といい、ちゃくと といい。 といい、ちゃくと といい。 といい、ちゃくと といい、ちゃく といいい、ちゃく といい、ちゃく といい、ちゃく といい、ちゃく といい、ちゃく といい、ちゃく といい、ちゃく といい、ちゃく といい、ちゃく といい、ちゃく といい、ちゃく といいい、ちゃく といいい、ちゃく といいい、ちゃく といいい、ちゃく といいい、ちゃく といいい、ちゃく といいい、ちゃく といいい、ちゃく といいい、ちゃく といいいい、 といいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	かんよう うじょういくい あいとう しょう しょう まべらい あいという まべらい きさとひ しょす いいひも	0	・具体物の長さ、太さ、厚さ、重さを比べる。	・いろいろな物(長さ、太さ、厚さ、重 さ)を比べることができる。		・手元の教材を用意 し、一斉に活動できる ようにする。 ・比べたい物の端を そろえて比べる。			

番 25③

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学部		小学部			学 年 6年				
考	教科等名	<u> Б</u> .Ж.Л.Ч	er 1	国語•算数	グループ名		グループ		
		・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。・出来事の順序を思い出したり想像したりする力を養い、人と関わりの中で伝えあう力を身に付けること							
ねらい		・							
担当教員		○南出 裕香							
	予定授業時数 使用教科書 東京書籍			150.6/256.8 こくご☆☆☆ 教育出版 さんすう☆☆☆					
月	単元(題	材)名	*	主な学習内容	ねらい(言	平価の観点)	指導の工夫		
通年	・鉛筆で書い う	てみよ		・平仮名や片仮名をなぞり 書きしたり視写したりする。	・線や枠を意識し くことができる。	・十字線など段階に応じた教材を用意する			
4	<国語> ・せつめいぶんをよ もう 「のりもの」「むし」「は な」 ・ぶんをかこう 「ひらがなをかこう」 「かたかなをかこう」 「ぶんをかこう」		0	・単語や短い文を、復唱したり、一人で読んだりする。 ・平仮名の単語とイラストのマッチング。 ・簡単な文章を読む。(乗り物、虫、花など)	・単語や短い文を、語のまとまりを意識して読むことができるようになる。 ・身近な物の名称が、平仮名の単語のまとまりで分かる。 ・簡単な文章を読むことができる。		・生活の中でよく触れる題材にする。 ・生活の中で目にするものを使用する。 ・イラストカードを複数用意し、選択できるようにする。		
5 6 7	れんだ一の「おたんじょ・10より大きい「10といくつ」をかきましょでのかずの」	ジダー こちとようび」「か だーのしくみ」 たんじょうび」 たいこうしまい数 といくつ」「かず きましょう」「20ま かずの大小」 のかずまでのた		・日にちと曜日、カレンダーの仕組み。 ・午前、午後の理解をする。時刻の読み取り。 ・10のまとまりの理解 ・1位数同士の繰り上がりのない足し算の仕方が分かる。	 一日の流れを理解し、示された時計の針を見て正しく読むことがわかる。 ・10までの数を分けたり、合わせたりしながら、10までの数え方や表し方を知る。 ・10までの2つの数を使って、足し算をすることができる。 		・具体物の操作や選択肢のあるゲームなど、楽しんでできる題材を用意する。		
9 10 11 12	< 国語かなに う 「かたかなを う」「かたかなを う」・がもう 「ブレーメン はなし」 もかいてみよ 「たよりなかさ 「たよりなかさ	よもう」 さがそ どうわを のまちの う	0	 ・繰り返しのある文や早口言葉を読む。 ・片仮名の単語とイラストのマッチング ・身近な人の便りを聞く、読む。 ・劇の台詞を覚える。 	・言葉のリズムや速度を感じながら、文を読むことができる。 ・身近な物の名称が、片仮名の単語のまとまりで分かる。 ・便りの文章を考えたり、書いたりすることができる。 ・自分の役を覚え、台詞を言うことができる。		・言葉のリズムを楽しめるものを題材とする。 ・イラストをモニターに映す。 ・見本を用意する。 ・あらかじめ読み聞かせの本の写真を見せたり、物語にふれたりする機会を設ける。		
	<算数> ・まとめてかいで う」「5ずつかで う」「5ずつかいとよう」「10ず えましょう」 ・表やグラフ 「ひょうをつべ う」「グラフを しょう」	えましょ ぞえま つかぞ	0	・20までの数字を順番に 並べる。 ・グラフの作成、グラフの 読み取りをする。 ・10のまとまりとあといく つ。	・17から20までの数を並べたり、順番地りに物を並べることができる。 ・数を数えて、グラフを作ることができる。 ・10のまとまりで数え、50程度の数を数えることができる。		・親しみやすい題材 を選ぶ。 ・タブレット端末など 操作しながら学習で きるようにする。 ・具体物の形を操作 したり、比べたりす る。		
1 2 3 3	<国語> ・たいけんし はっぴょうし 「たのしかっ そく」「かじ」 ・ことばのさい もじにちゅう 「プレゼント」 に」	よう たえん いしょの もくしよう	0	 ・繰り返しのある文章や物語を声を出して読む。 ・友達と交互に読み進める。 ・簡単な物語のイメージをもって、友達とやり取りする。 	さる。 ・誌は、順釆を音楽したり 白公の誌は。		 ・文章をモニターに 映す。 ・読む順番をカード などで示しておく。 ・範読などで、物語 や役のイメージがも てるようにする。 		
	<算数> ・じゅんばう ・じゅんはう「10より小さいましょう」 「10より小さいきい数」「どん がはいるたかにしている。 ・くらとさかさいくらいてきなっている。 しょう」「かいい、せい」 といい」といい、せい といい。 といい、せい といい、 といい、 といい、 といい、 といい、 といい、 とい	いななうごが 大ずらが 大ずらが よべうさかいましたがらないいました。 大ずらが します します します します	0	・具体物の長さ、太さ、厚 さ、重さを比べる。 る予定の内容について	・いろいろな物(長さ、太さ、厚さ、重 さ)を比べることができる。		・手元の教材を用意し、一斉に活動できるようにする。・比べたい物の端をそろえて比べる。		